

【LUCICAM】 NVR基本操作マニュアル(モニター)

Ver.1-20250916





注意

デバイスの機種やファームウェアのバージョンによって一部表記が異なる 場合があります。



目次

セットアップウィザード レコーダー経由でのカメラのIPアドレス変更方法 カメラの追加方法

ネットワークの設定方法

日付時刻の設定方法

初期設定

録画再生、バックアップ方法

レコーダーの再起動方法

レコーダーのファームアップ方法



LUCICAM NVR起動時画面です。 機器が立ち上がるまでしばらくお待ちください。

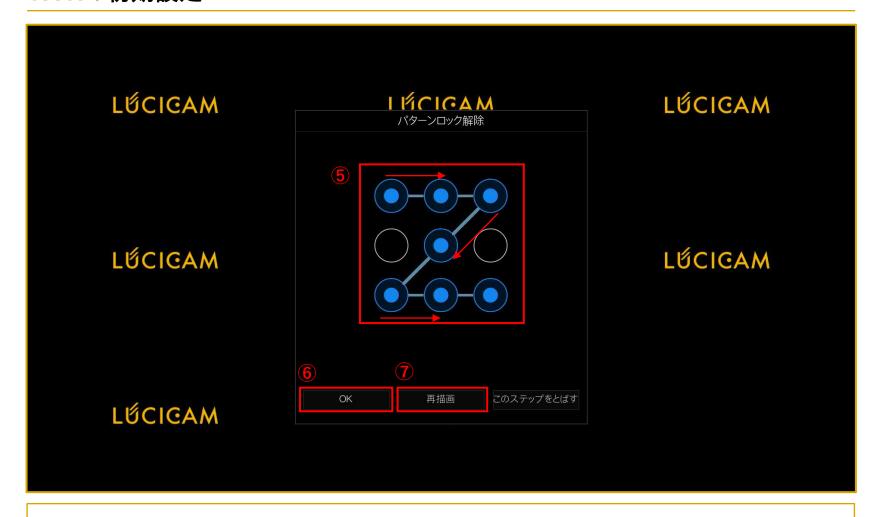


- ①パスワードを入力し、確認用に再度パスワードを入力します。
- ②接続するカメラのパスワードを入力します。カメラを初期状態のまま使用する場合は"admin"と入力します。
- ③「OK」をクリックします。



④パターンロック解除を使用する場合は、パターンを描きます。 パターンとは、マウスの左クリック状態で一筆図形を描くことで、文字のようにすることもできます。 また、同じ図形でも書き順によっても記録されます。

※必要がない場合は「このステップをとばす」をクリックします。



前のページで「このステップをとばす」を選択した場合、この画面は表示されません。

- ⑤確認のため再度パターンを描きます。こちらは「Z」と記入した際の一例です。
- ⑥「OK」をクリックします。
- ⑦やり直す場合は、「再描画」をクリックします。



- ⑧パスワードを忘れた時のための再設定用のメールアドレスを入力します。
- **⑨「OK」をクリックします。**
- ※必要がない場合は「このステップをとばす」をクリックします。

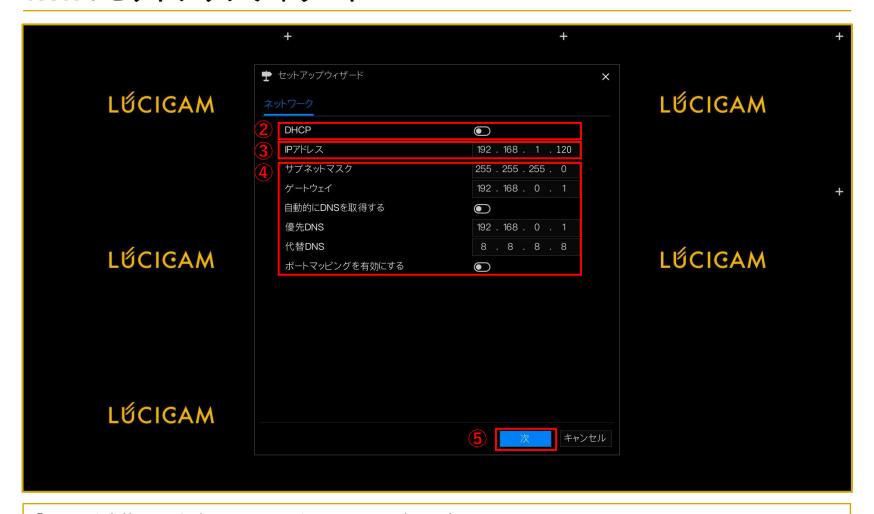


- ⑩質問と質問の答えを入力します。
- ①「OK」をクリックします。
- ※必要がない場合は「このステップをとばす」をクリックします。



NVRの初期設定が完了するとセットアップウィザードが表示されます。 セットアップウィザードでは、ネットワーク設定、時刻設定、P2P設定、HDD設定、ディスプレイ設定などを設定できます。

- 「セットアップウィザード」をクリックします。
- \times 必要がない場合は「 \times 」を選択できますが、初めて本製品をご使用の方は「セットアップウィザード」をクリックして各種設定することを推奨いたします。

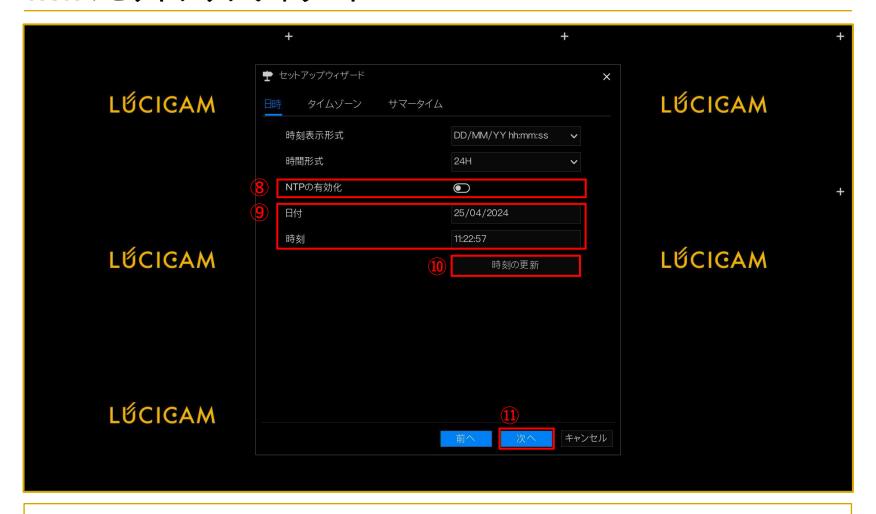


- ②DHCPを有効にする場合は、スイッチをクリックして右に設定します。
- ③IPアドレスを設定します。初期値は"192.168.1.120"です。 注意)カメラを検出する際に、NVRとカメラのIPアドレスが重複している場合、カメラを検出できませんのでカメラの IPアドレスと重複しないIPアドレスを設定してください。
- ④サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSなどはご使用の環境に合わせて設定してください。
- ⑤「次」をクリックします。



⑥「日付形式」をプルダウンの中から「YY/MM/DD hh:mm:ss」に変更します。

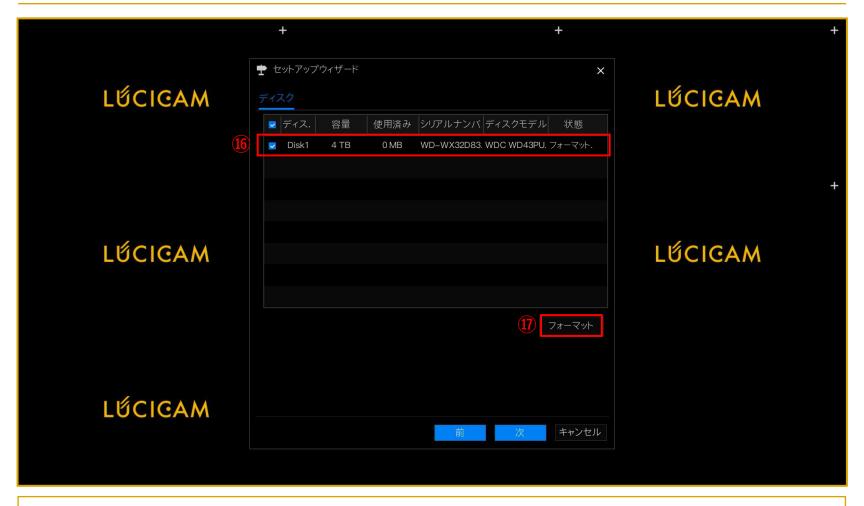
⑦ネットワークに接続されている場合は、「NTPを有効にする」をオンにすると自動的にタイムサーバーと時刻が同期されます。



- ⑧「NTPを有効にする」をオフにする場合は、手動で日付と時刻を設定します。
- ⑨「日付」「時刻」を設定します。
- ⑩「時刻の更新」をクリックして日付と時刻を反映させます。
- ① 「次へ」をクリックします。



- **⑫カメラのパスワードを入力してください。カメラのパスワードと一致しない場合は映像が映りません。**
- **⑬検出されたカメラは下のリストに表示されます。映像を映したいカメラのチェックボックスにチェックを付けます。**
- **⑭「追加」をクリックしてカメラを追加します。**
- ⑤上のリストに追加されたカメラが表示されます。NVRのPoEポートに直接カメラを接続している場合は、自動でリストに追加され、カメラ映像が表示されます。ただし、②のパスワードがカメラと一致している必要があります。
- ※カメラ追加設定完了、もしくは、この時点でカメラ接続していない場合は、「次へ」をクリックします。

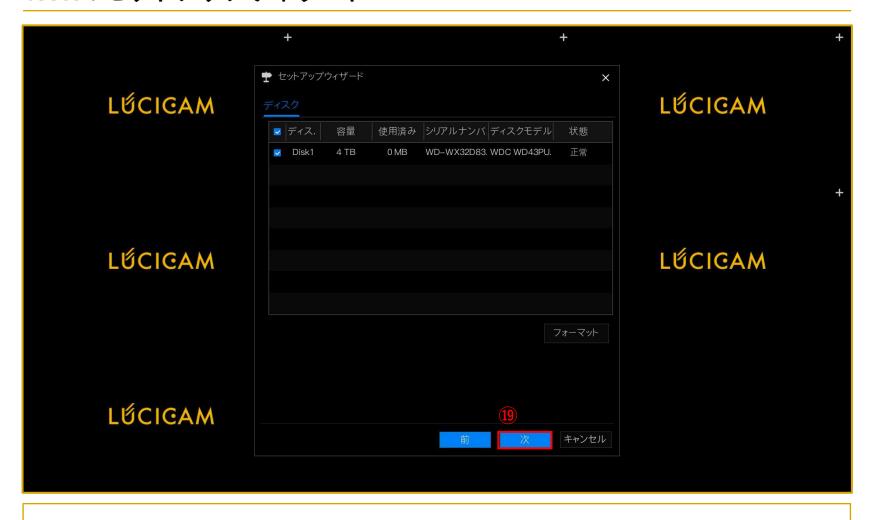


ハードディスクのフォーマットを行います。初めて製品を起動する場合、ハードディスクのフォーマットを行わないと、エラーが表示され正常に録画できなくなりますので、フォーマットすることを推奨いたします。 フォーマットを行うとハードディスクの録画データが削除されます。

- (16)フォーマットを行うハードディスクのチェックボックスにチェックを付けます。
- ①「フォーマット」をクリックします。



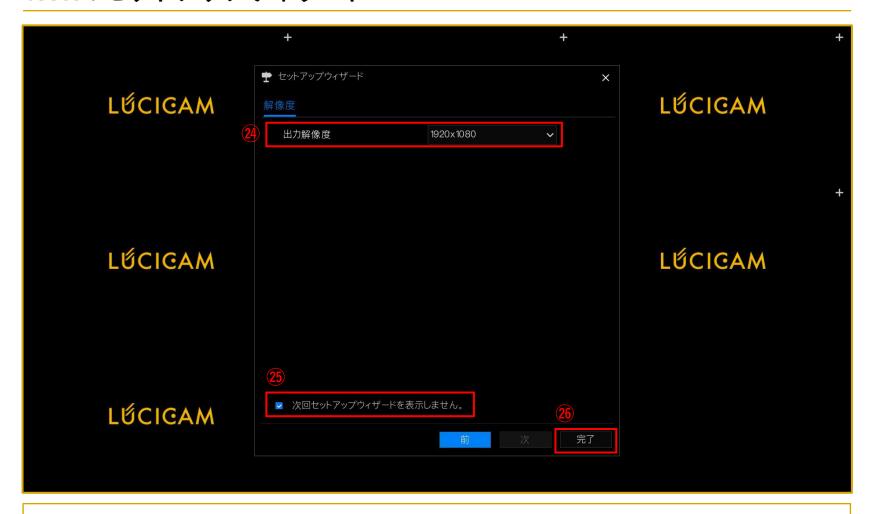
18「OK」をクリックします。



⑨フォーマットが完了したら、「次」をクリックします。



- 20P2P機能を有効にする場合は、スイッチをクリックして右に設定します。
 - ただし、NVRがネットワークに接続されていない場合は、使用できません。
- ② 「状態 | がオンラインの場合、P2P機能を使用して遠隔地から映像の閲覧やデバイスにログインすることが可能になります。
- ②スマートフォンアプリ「LUCICAM」からP2P IDを入力または、QRコードをスキャンすることにより、アプリにデバイスを登録することができます。
- ② 「次」をクリックします。



- 24 モニターへの出力解像度を設定します。
- ②「次回セットアップウィザードを表示しません。」をクリックします。
- 26全ての設定が完了したら、「完了」をクリックします。

NVRからカメラの IPアドレスを変更する方法

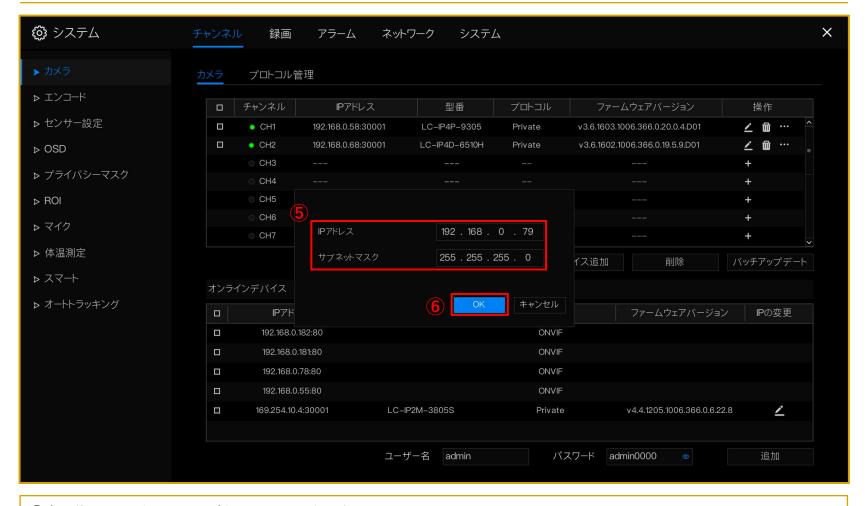


ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「チャンネル」>「カメラ」を選択します。



- ②「カメラ」を選択します。
- ③カメラのユーザー名とパスワードを入力します。
- ④「編集(ペン)」のアイコンをクリックします。



- ⑤変更後のIPアドレスとサブネットマスクを入力します。
 IPアドレスのセグメントが異なるカメラのIPアドレスも設定することができます。
 NVRにカメラを登録する場合は、事前にNVRのIPアドレスを確認して、IPアドレスの第3セグメントまでが一致し、 第4セグメントのみが異なるようにご設定ください。
- ⑥「OK」をクリックします。 IPアドレスが他のデバイスと重複している場合はエラーメッセージが表示されますので、再設定してください。



⑦IPアドレスが変更されました。



ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「チャンネル」>「カメラ」を選択します。



- ②「カメラ」を選択します。
- ③追加したいカメラのチェックボックスにチェックをつけます。
- ④カメラのユーザー名とパスワードを入力します。
- ⑤「追加」をクリックします。



⑤カメラがリストに追加されました。 チャンネル番号の横の緑色の○が表示されると映像が表示されるようになります。 赤色の○が表示される場合は正常にデバイスが登録できていません。IPアドレスの重複やユーザー名、パスワードが正しく入力されているかをご確認ください。

ネットワークの設定方法

ネットワークの追加方法



ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「ネットワーク」>「ネットワーク」を選択します。

ネットワークの追加方法



- ②「ネットワーク」を選択します。
- ③手動でIPアドレスを設定する場合は、「DHCP」をオフにします。 自動でIPアドレスを設定する場合は、「DHCP」をオンにします。
- ④IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSを設定します。
- ⑤「適用」をクリックします。

日付時刻の設定方法

日付時刻の設定方法



ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「システム」>「一般設定」を選択します。

日付時刻の設定方法



- ②③「一般設定」>「日時」をクリックします。
- ④時刻の表示形式をプルダウンにて「YY/MM/DD hh:mm:ss」に変更ください。 また時間形式にて、12時間表記と24時間表記の切り替えも可能です。
- ⑤手動で時刻設定を行う場合は、「NTPの有効化」をオフにします。 タイムサーバーと同期させる場合は、「NTPの有効化」をオンにします。
- ※タイムサーバーと同期させるには、NVRをネットワークに接続する必要があります。

日付時刻の設定方法

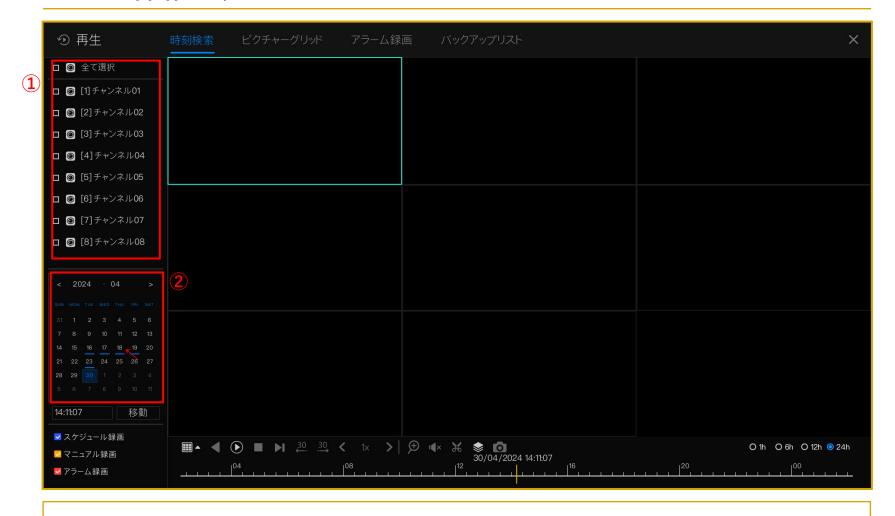


- ⑥時刻を手動で設定いする場合は、日付と時刻をクリックして設定します。
- ⑦時刻の変更を反映させるには、「時刻の更新」をクリックします。
- ⑧「適用」をクリックして設定を反映させます。

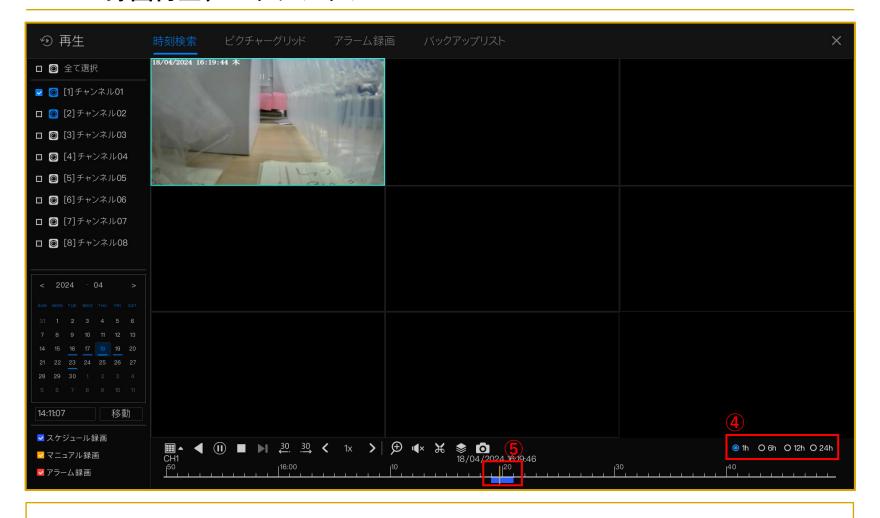


ライブ映像画面でマウスを画面下に移動させるとツールバーが表示されます。

①「再生」のアイコンを選択します。

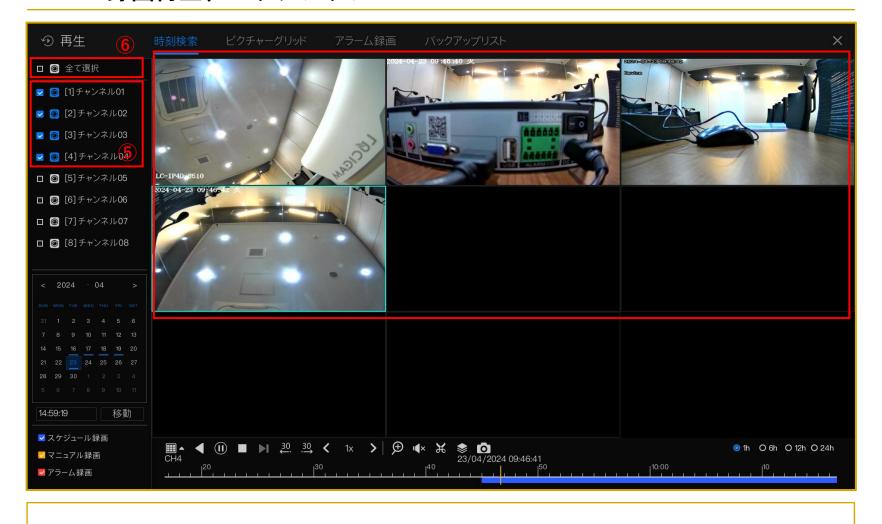


- ②再生したいカメラを選択します。
- ③日付の下に青色のバーが表示されている日に録画データが存在します。 映像を見たい日付をクリックします。

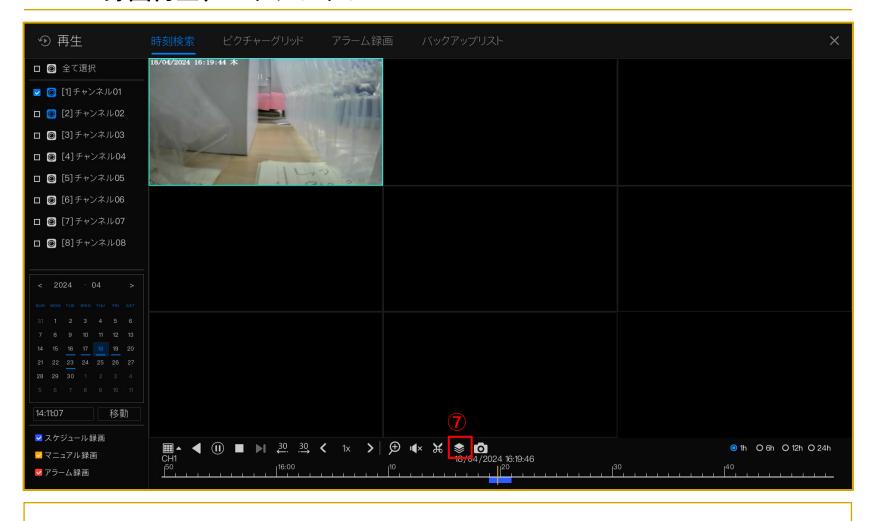


- ④タイムスケールでタイムバーの期間を選択します。
- **⑤録画データが存在する箇所がタイムライン上に青色で表示されます。青色の箇所をクリックすると映像が表示されます。**

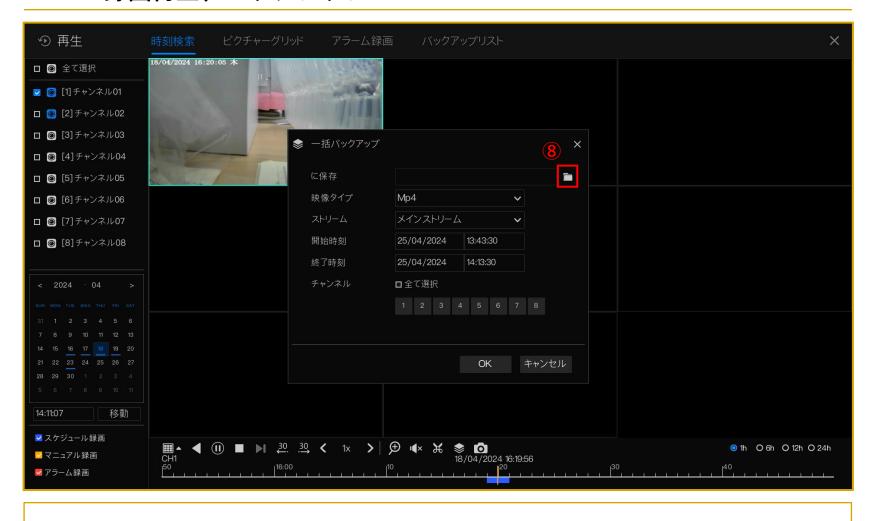
録画データが存在しない場合は色が表示されません。



- **⑤録画データが存在するチャンネルをクリックすると順番に録画映像が表示されます。**
- ⑥「全て選択」をクリックすると全てのカメラが再生できます。

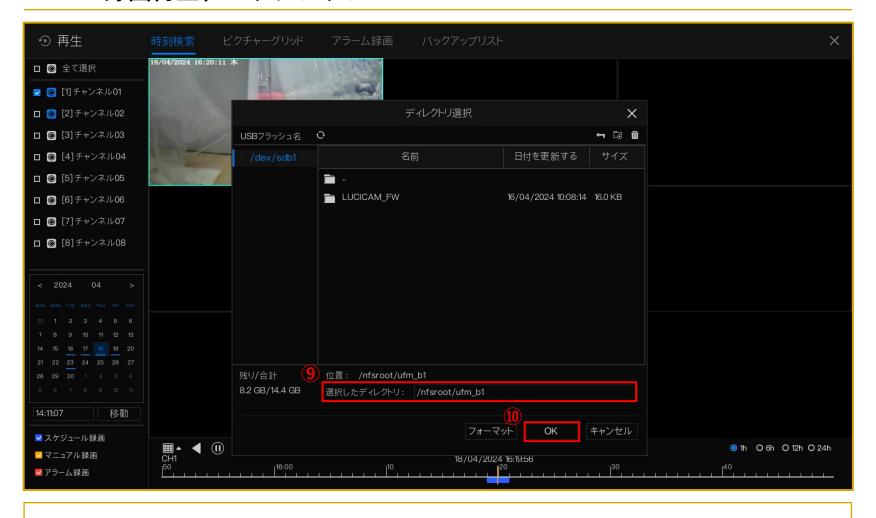


⑦録画をバックアップするには、「一括バックアップ」のアイコンをクリックします。

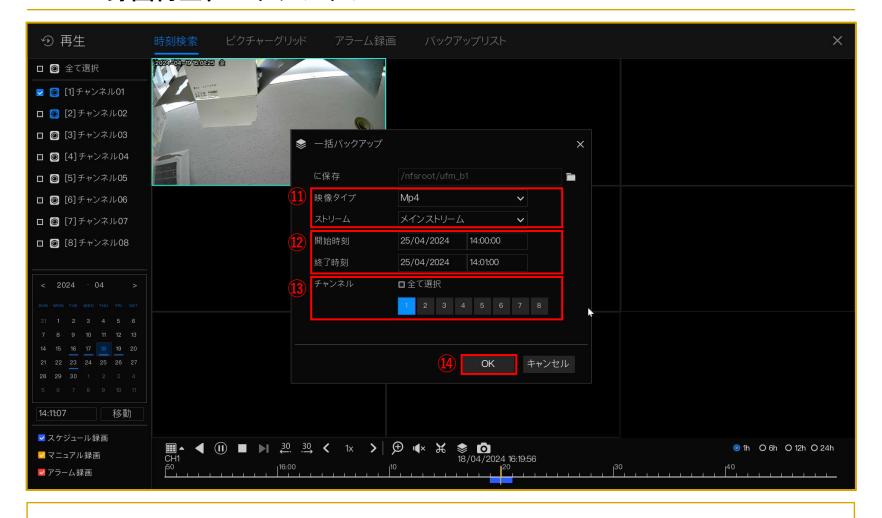


録画データを保存するUSBをNVRのUSBポートに接続します。

⑧「フォルダ」のアイコンをクリックして、録画データの保存先を選択します。



- ⑨保存先のフォルダ/ディレクトリを選択します。
- ⑩「OK」をクリックします。



- ① 「映像タイプ(MP4/AVI/Private)」と「ストリーム(メインストリーム/サブストリーム)」を選択します。
- ⑫バックアップする録画データの「開始時刻」と「終了時刻」を選択します。
 - 「開始時刻」と「終了時刻」の間に録画データが存在しない場合は、バックアップできませんので、ご注意ください。
- (13)録画データをバックアップしたいチャンネルを選択します。
- ⑭「OK」をクリックすると、録画データのバックアップが開始されます。

NVRの再起動方法

NVRの再起動方法



ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「システム」>「メンテナンス」を選択します。

NVRの再起動方法



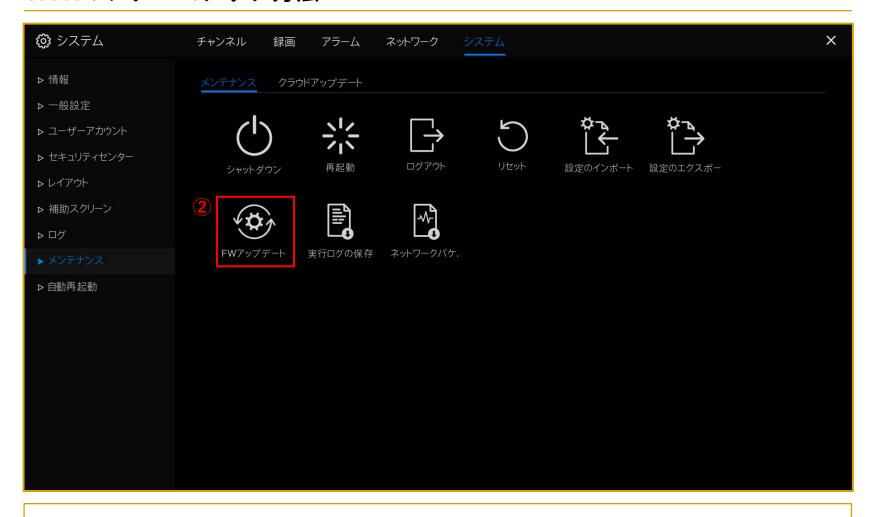
ファームウェアが保存されたUSBをNVRのUSBポートに接続します。

②「再起動」をクリックします。



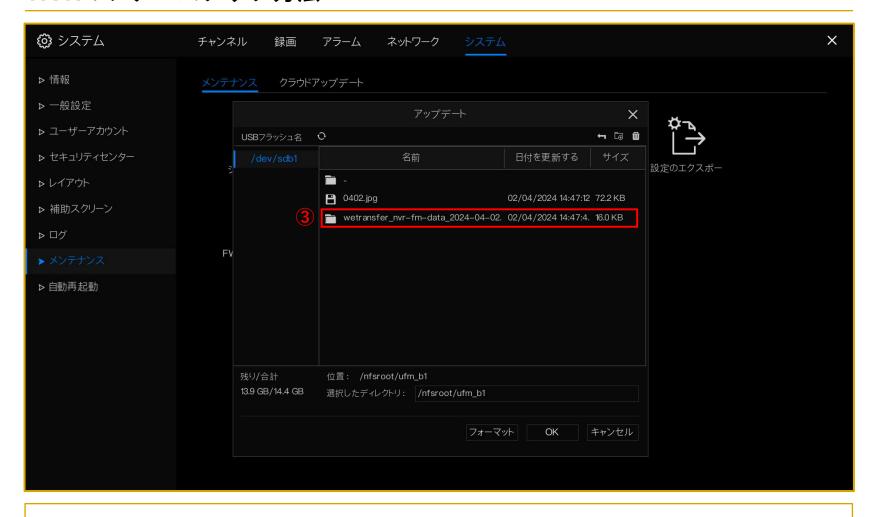
ライブ映像画面でマウスを右クリックしてメインメニューを表示させます。

①「システム」>「メンテナンス」を選択します。



ファームウェアが保存されたUSBをNVRのUSBポートに接続します。

②「FWアップデート」をクリックします。



③ファームウェアが保存されているファイルをダブルクリックしてフォルダ内に移動します。

USBデバイスを挿入しているのもかかわらず、USBデバイスが表示されない場合は、レコーダーを一度再起動して、再び前ページの手順をお試しください。



- ④該当のファームウェアをクリックすると、緑の枠で囲われ選択中になります。
- ⑤「OK」をクリックします。

ファームウェアのアップデートが始まると、デバイスの再起動が始まります。